

平成29年9月17日の台風第18号の影響による 野津ダム防災操作の効果について

【速報推計】

9月16日から17日の台風18号の豪雨により、ダム流入量は急激に増加し、17日13時43分に流入量が $11\text{m}^3/\text{s}$ に達したので防災操作を開始した。その後も流入量は急激に増加し、17日15時20分にはピーク流入量に到達し $23.2\text{m}^3/\text{s}$ を観測した後は次第に減少した。

その後、流入量は減少をはじめ、17時50分には洪水量の $11\text{m}^3/\text{s}$ まで減少しました。

今回の防災操作により、下流河川(合流点付近)において、河川水位を約 0.1m 低減させたと思われます。



○久保田橋下流の状況(臼杵市野津町清水原)



平成29年9月17日の台風第18号の影響による 野津ダム防災操作の効果について

【洪水調節実績図(速報値)】



【ダムの治水効果】

ダムがないと...

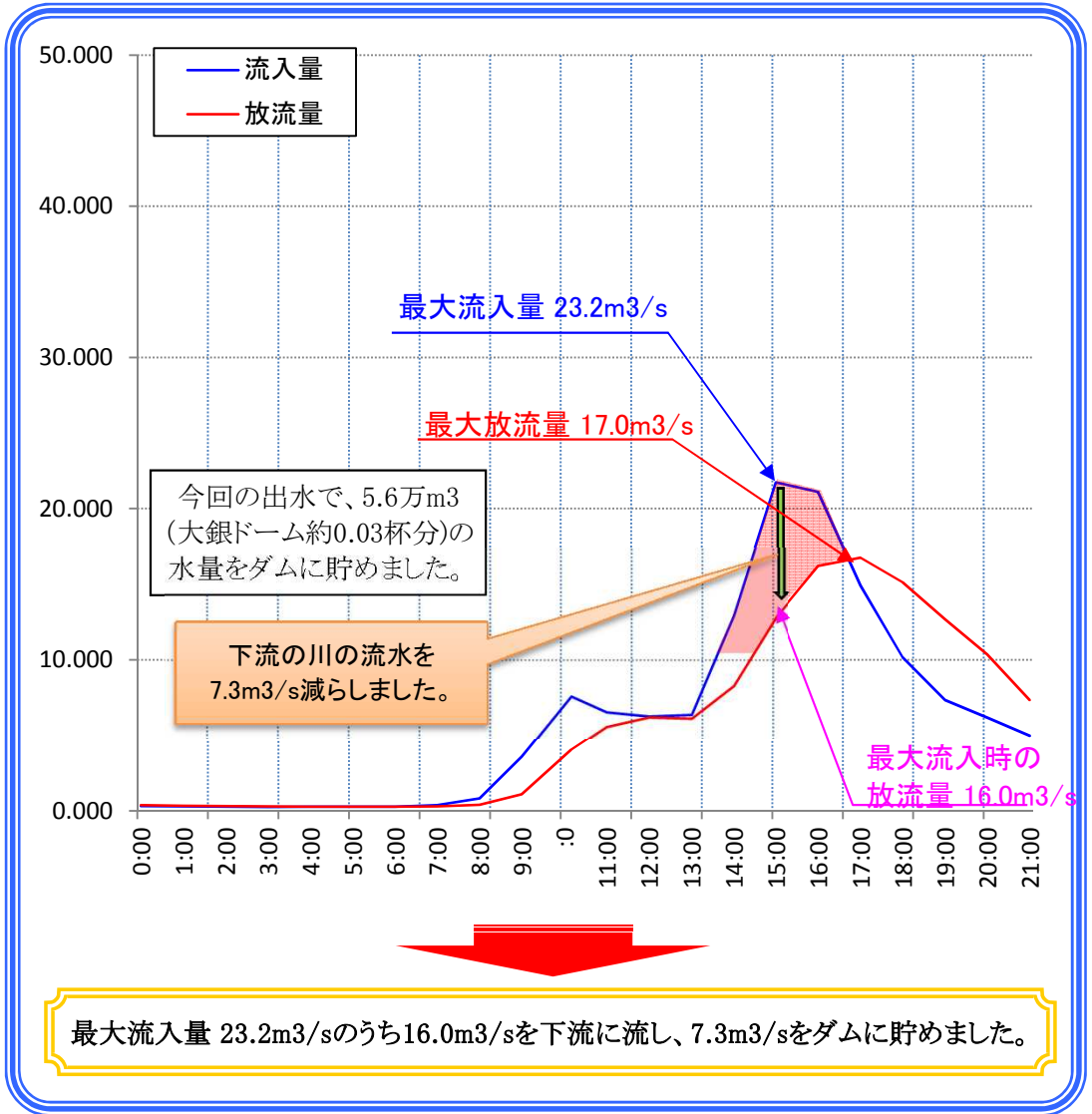
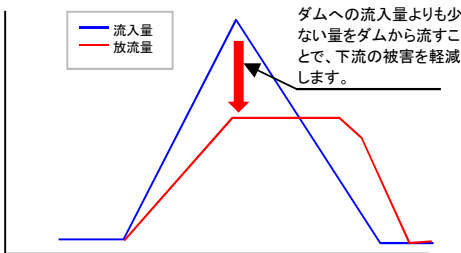
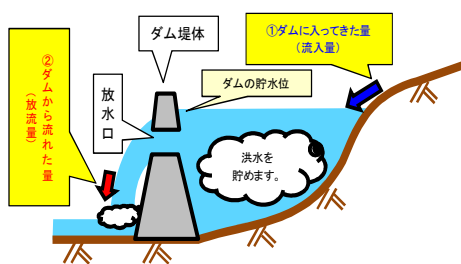


大雨が降ると、川から水があふれてしまいます。

ダムがあると...



大雨で降った雨をダムに貯め、徐々にダムから放流します。



平成29年9月17日の台風第18号の影響による 野津ダム防災操作の効果について

【臼杵市野津町久保田橋地点(野津川合流点)の河川水位比較】

